

第13回大会ワークショップ

テーマ：「希望をもって暮らしつづけられるまちとは」



●せたがや福社區民学会学生理事

- ・佐藤 貴緒（昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科3年）
- ・成嶋 セルジオ正章（日本大学文理学部社会福祉学科3年）

●第13回大会ワークショップ学生実行委員

- ・大倉 也実（日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科健康スポーツ学専攻4年）
- ・久保 涼夏（日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科健康スポーツ学専攻3年）
- ・河野 幸也（東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科3年）
- ・鈴木 真衣（東京医療保健大学医療保健学部医療栄養学科2年）
- ・竹丘 涼香（駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻3年）
- ・渡部 志穂（駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻3年）

◎講話「視覚障害とは？みんなが暮らしやすい社会に向けて」

成嶋 セルジオ正章（日本大学文理学部社会福祉学科3年）



ワークショップ（タイムスケジュール）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 開会 | 14:00～14:05（5分） |
| 2. 講話 | 14:05～14:25（20分） |
| 3. グループセッション | 14:25～15:05（40分） |
| 4. グループセッションまとめ | 15:05～15:20（15分） |
| 5. ワークショップ振り返り | 15:20～15:25（5分） |
| 6. 閉会 | 15:25～15:30（5分） |



成嶋セルジオ正章（ナリシマセルジオタダアキ）



- ・ 日本大学文理学部社会福祉学科3年
- ・ せたがや福社區民学会 学生理事
- ・ 静岡県御殿場市 出身 & 在住
— 大学まで往復7時間かけ通学 —
- ・ 筑波大学附属視覚特別支援学校高等部普通科 卒業
— 普通小学校入学時の検診で目が悪いことがわかる —

大学ではこんなことしてます

白杖に取り外し可能なスマホと連動したナビゲーションシステムの研究・開発



agenda

- ・皆さんが知っている「視覚障害」とは？
- ・視覚障害について
- ・セルジオの見え方って？
- ・セルジオが感じる生きづらさ
- ・セルジオが考える暮らしやすい社会とは
- ・暮らしやすい社会の実現に向けて
- ・最後に

皆さんが知ってる「視覚障害」とは？ 一言で言うと

目が見えない

目が見えづらい

点字

白杖

盲導犬

音声

点字ブロック

視覚障害の一般的なイメージ



視覚障害とは？

視覚障害は視力・視野・色覚・眼球運動などの視機能が矯正・治療できない状態です。
→眼鏡やコンタクトレンズなどを利用して見え方が良ならない状態。
単に視力が低いだけではありません。

視覚障害者のほとんどは少し見えるが見えにくい状態にある**弱視(ロービジョン)**です。



セルジオの見え方って？

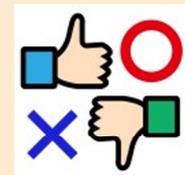
視力：左 0.05 右 0.05 視野狭窄あり

約3mで誰なのかわかります。
それより遠くは、動きで人なのかモノなのかわかります。



セルジオが感じる生きづらさ

なかなか自分を評価してもらえない



→何か成し遂げて「“視覚障害”のある学生が…」とか
「“視覚障害”のあるセルジオが…」という、評価になってしまう。

セルジオが考える暮らしやすい社会とは

その人を捉えリスペクトできる社会

→障害などの属性を抜きにして、1人ひとりをリスペクトして認め合うことができる

セルジオが考える暮らしやすい社会とは

機会の平等がある社会

→障害や性別などの属性に関わらずチャレンジできる

暮らしやすい社会の実現に向けて①

学校や地域で当事者と交流できる機会を増やす

→First stepとして“知る”から始める
先入観を捨て、リアルな姿に触れることで“同じ”と気がつける

暮らしやすい社会の実現に向けて②

"競争"じゃなく"共創"へ

→学んでいる分野の壁を越えて手を取り合う
福祉だけでは社会を変えるのは難しい



ここでグループワーク！！



最後に

どんなに高い壁でも階段を作れば登れる。
高いから登れないんだらうと思うんじゃなくて、
登れるに違いないと思ってどうすれば登れるかを考える。





